



給食会だより

第120号

〔公財〕川崎市学校給食会



〒210-0004 川崎区宮本町6番地（明治安田生命ビル4F）

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442

平成28年度 第8回 食育推進コンテスト審査会 （主催：川崎市PTA連絡協議会）

11月14日（月）午後2時～ 川崎市教育文化会館

栄養バランスやボリューム、食材や産地等に気を配りながら、子どもたちが意欲的に取り組んだお弁当の審査会が、今年度も開催されました。生活習慣改善事業の一環であるこの「食育推進コンテスト」も8回目を迎えるということです。応募数は小学校39点、中学校681点、特別支援学校1点、高等学校61点、一般29点、合作2点の合計813点に上りました。昨年度より総数で63点も多い応募数でした。

会場にずらりと並んだお弁当（解説と写真）を見ていると、食べる人のことを気遣いながらメニューに工夫を凝らし、キッチンに立つ子どもたちの姿が浮かんできます。お弁当を作るコンセプトも多岐にわたっており、「アレルギーのある妹が食べられる…」、「友達4人の絆を大切にしたい…」、「国産にこだわった…」、「全ての栄養区分がバランスよく入った…」、「部活に負けないボリューム…」といったものもありました。また、「昨夜の残りを利用して…」、「100円で出来る…」といった全く別の観点から迫ったお弁当もありました。



お子さんが慣れない包丁を握りコンロに火を着けると奮闘する姿を、親御さんははらはらしながら見守っていたのではないかと思います。審査会の中でも話題になりましたが、今どきはミカンの皮も剥けない子がいる中で、お弁当に挑戦したお子さんたちは、きっと貴重な体験となり、キッチンに立つことを楽しめる大人に成長していくのだろうと想像しています。

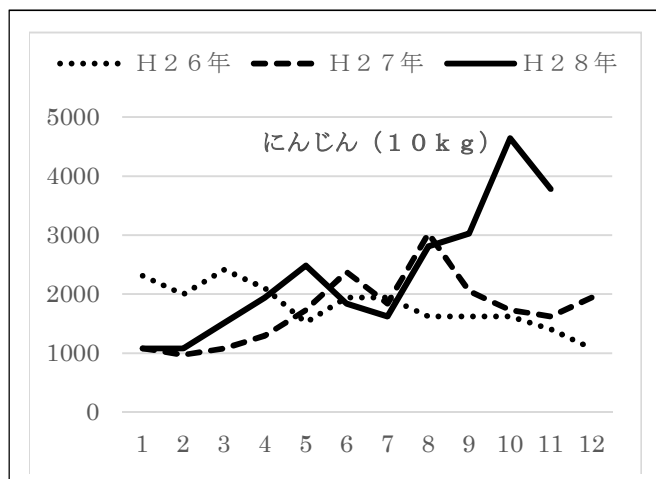
審査が行われた賞は次のとおりです。川崎市教育委員会賞（小学校の部1点、中学校の部2点、特別支援・高校・一般・合作の部1点）、川崎市スポーツ協会会長賞（小学校の部1点、中学校の部3点、特別支援・高校・一般・合作の部1点）、川崎市学校給食会理事長賞（同）、JAセレサ川崎セレサモス賞（同）、川崎市PTA連絡協議会会長賞（小学校の部1点、中学校の部3点、特別支援・高校・一般・合作の部2点）、味の素賞（2点）の合計27点です。



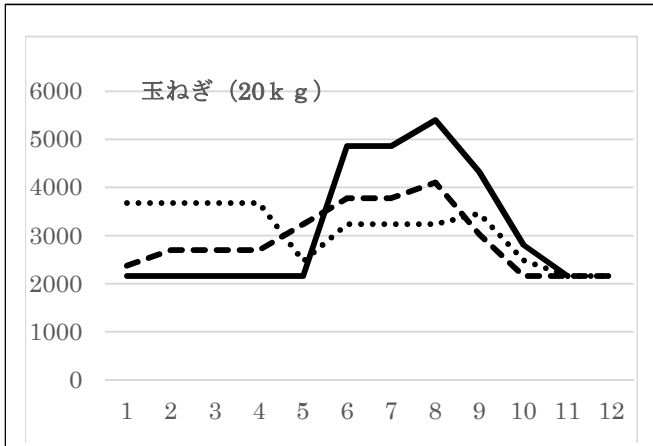
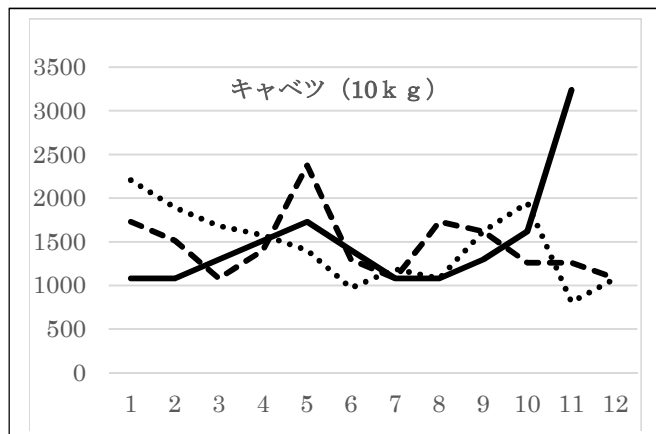
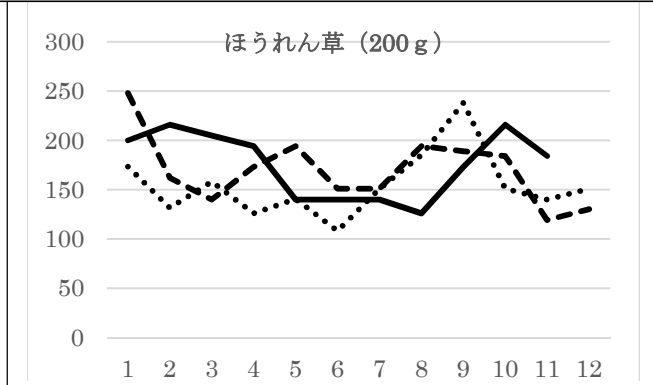
表彰式と講演会が、来年1月15日（日）午後1時30分より、川崎市高津市民館大会議室で行われます。給食会理事長賞の5名には昨年にも続いて副賞も贈られます。「子どもの生活習慣を考える～インターネット依存って何だろう？～」（仮題）という演題で独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 院長 樋口進氏の講演が予定されています。

いつになったら安定するの？野菜の価格

錦絵を思わせた秋の絶景も色あせ、冬支度に追われる頃となりました。今年は、夏の終わりから晩秋まで、「野菜価格の高騰」の文字が毎日のように新聞を賑わせました。また、給食を中止せざるを得ない都市もあったようです。そこで、過去3年間の給食によく登場する野菜の価格の変動を調べてみました。日本経済新聞の「卸売市場」に掲載されている野菜（中央卸売市場）の価格（消費税込み）の中から、各月の初旬の値段をグラフ化してみました。



注：各グラフとも縦軸の単位は円、横軸の単位は月。



野菜の価格が変動する要因はいろいろとあると思います。けれども、にんじんやキャベツの値段が過去に例を見ないほど高値をつけているのは、やはり、たくさんの台風の接近や上陸、秋の長雨による日照不足が大きいかかわっているものと思われます。また、玉ねぎの6～9月の値段が急騰したのも同じことが要因だったのでしょうか。玉ねぎは多少小ぶりですが、価格はだいぶ落ち着いてきました。どの野菜も、使いやすい価格に戻ってほしいものです。

10月28日 学校給食会で試食会実施

各学校で毎日実施されている学校給食が、安全に円滑に行われるよう、物資の調達等を行っている学校給食会ですが、学校給食会には給食はありません。

学校現場でどのような給食が実施されているのかを知りたいという思いもあり、宮前小学校におじゃまして、給食試食会を実施しました。10月28日のメニューは米粉ロールパン・牛乳・ボルシチ・もやし炒めでした。この日は昼時から冷たい雨に変わり、気温は14℃。肌寒い日になりましたが、ボルシチで体があたたまりました。また、もやし炒めは当初、野菜ソテーの予定でしたが、ほうれん草・ホールコーンが入荷しないということで変更になったという、今年を象徴するようなメニューでした。

